

発行日 04-1-2017

改訂日 15-11-2018

改定番号 4

日本 / 日本語 (Japanese)

1. 製品および会社情報

製品特定名

製品名 EpoKwick FC Resin

製品コード 20-3453-128

(M)SDS番号 1364504_J

その他の識別手段

別名 情報なし

登録番号 情報なし

化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 Laboratory Use Only

推奨されない用途 情報なし

安全データシートの供給者の詳細

製造者 Buehler

製造者の住所 住所：〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 6F

電話番号 電話番号：03-5439-5077

メールアドレス info.japan@buehler.com

本店 ITWジャパン株式会社
本店住所：東京都江東区北砂一丁目4番4号

緊急連絡電話番号

Global Access Code: 334545

Asia Pacific: +1 760 476 3960

Middle East/Africa: +1 760 476 3959

Japan: +81 36 8908677

Americas: +1 760 476 3962

Europe: +1 760 476 3961

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体	区分 4
急性毒性(経皮)	区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1A
水生環境有害性(急性)	区分 3
水生環境有害性(長期間)	区分 2

ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H227 - 可燃性液体
 H312 - 皮膚に接触すると有害
 H315 - 皮膚刺激
 H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
 H318 - 重篤な眼の損傷
 H402 - 水生生物に有害
 H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き—安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること
 環境への放出を避けること
 取扱後は手をよく洗うこと
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること

注意書き—応急措置

特別な処置が緊急に必要である(このラベルの応急措置についての補足指示を見よ)
 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること
 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること
 汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること
 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること
 火災の場合: 消火するために乾燥した砂、粉末消火剤又は耐アルコール泡消火剤を使用すること
 漏出物を回収すること

注意書き - 保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと

注意書き - 廃棄

内容物/容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること

他の危険有害性

該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質

該当しない

混合物

化学名	重量%	化審法 - 日本既存及び新規化学物質	安衛法番号	CAS No.
Phenol, polymer with formaldehyde glycidyl ether	70 - 90%	(7)-1285	Present	28064-14-4
Alkyl (C12-14) glycidyl ether	5 - 15%	(2)-2426	Present	68609-97-2
Oxirane, [[(2-ethylhexyl)oxy]methyl]-	0 - 10%	(2)-2426	Present	2461-15-6
2-Propenoic acid, 1,4-butanediyl ester	0 - 10%	(2)-958, (2)-1007	Present	1070-70-8
Bisphenol A - Epichlorohydrin polymer	0 - 5%	(7)-1283	Present	25068-38-6

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)
該当しない。

労働安全衛生法

該当しない

毒物及び劇物取締法 該当しない

4. 応急措置

応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全性データシートを示すこと。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。
吸入	空気の新鮮な場所に移すこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てをうけること。
眼接触	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。洗っている間は眼を大きく広げてそのままにすること。受傷部をこすらないこと。コンタクトレンズを着用している場合、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断/手当てを受けること。
皮膚接触	汚染された衣服及び靴を脱ぎ、直ちに石けんと多量の水で洗うこと。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
経口	無理に吐かせないこと。水で口をすすぎ、その後多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師に連絡すること。
症状	灼熱感。掻痒感。発疹。じんま疹。
応急措置をする者の保護	すべての着火源を排除すること。医療者が物質の関与を認識していることを確認し、彼ら自身の保護及び汚染の拡大を防止するための措置を講じること。個人用保護衣を着用すること(項目8を参照)。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。
医師に対する特別な注意事項	敏感な個人に感作を引き起こすおそれがある。症状に応じて治療すること。

5. 火災時の措置

Flammable Properties	引火性でない。可燃性液体。
適切な消火剤	粉末消火剤。二酸化炭素(CO2)。水噴霧。耐アルコール泡消火剤。
大規模火災	警告：消火の効果が得られない場合には水噴霧を使用すること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させないこと。
特有の危険有害性	製品及び空容器を熱源及び着火源から遠ざけること。火災の場合には、水噴霧でタンクを冷却すること。製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素。
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること。
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。個人用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	人員を安全な区域に退避させること。指定された個人保護具を使用すること。詳細は8項を参考する。静電気に対する予防措置を講ずること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。十分換気されているか確認すること。人員を漏出/漏えい(洩)の風上に遠ざけること。すべての着火源を排除すること。
その他の情報	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。

緊急対応を行う者のための保護具	8項で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	7項及び8項に記載されている保護措置を参照すること。安全に対処できるならば、それ以上の漏えい(洩)又は漏出を防ぐこと。
封じ込め方法	リスクを伴わずに可能ならば漏えい(洩)を止めること。漏出物に触れたりその上を歩いたりしないこと。後で廃棄するために液体流出物のかなり前方に堤防を築くこと。
浄化方法	静電気に対する予防措置を講ずること。せき止めること。不活性吸収材料で吸収すること。回収して適切に表示された容器に移すこと。
二次危険有害性の予防	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。
参照すべき項	詳細は8項を参考する。詳細は13項を参照する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項	個人用保護具を使用すること。蒸気やミストを吸い込まないこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。静電気に対する予防措置を講ずること。局所排気換気装置を併用すること。産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
----------	--

保管

安全な保管条件	容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。熱、火花、炎及び他の着火源(例えば、点火バーナー、電気モーター及び静電気)から遠ざけること。適切な表示のある容器に保管すること。個別の国内規制に従って保管すること。現地の規則に従って保管すること。施錠して保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。
混触危険物質	強酸。強塩基。強酸化剤。
一般的な衛生注意事項	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。機器、作業区域及び衣類を定期的にクリーニングすることが推奨される。休憩前および製品の取扱い直後に手を洗うこと。皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。適切な手袋および眼/顔面保護具を着用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
技術的対策	シャワー 洗眼場 換気システム。
個人用保護具	
眼/顔の保護具	密封性の高い安全ゴーグル。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。長袖の衣類。
手の保護具	適切な手袋を着用する。不浸透性手袋。
呼吸用保護具	通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、換気および排気が必要になる。
環境ばく露防止	情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質

物理的状态

外観	液体 無色透明
臭い	甘い
色	情報なし
臭いのしきい値	データなし

特性

	値	備考 方法
pH	No data available	
融点 / 凝固点	データなし	知見なし
沸点 / 沸点範囲	> 150° C ° C	
引火点	> 93° C C	
蒸発速度	データなし	知見なし
燃焼性(固体、気体)	データなし	知見なし
空気中での可燃限界		知見なし
可燃性上限	データなし	
可燃性下限	データなし	
蒸気圧	データなし	知見なし
蒸気密度	データなし	知見なし
相対密度	1.14 g/cm ³	
水への溶解度	非混合性	
溶解度	データなし	知見なし
n-オクタノール/水分係数	No data available	
自然発火温度	データなし	知見なし
分解温度	データなし	知見なし
動粘性率	データなし	知見なし
粘度	データなし	知見なし
爆発性	情報なし	
酸化特性	情報なし	

その他の情報

軟化点	情報なし
分子量	情報なし
VOC含有率 (%)	0 %
蒸気濃度	情報なし
かさ密度	情報なし
粒径	情報なし
粒径分布	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性及び反応性	情報なし.
安定性	通常の条件下で安定.
爆発データ	
機械的衝撃に対する感度	なし
静電放電に対する感度	該当する
危険有害性反応危険性	通常のプロセスではない.
危険有害性重合作用	危険有害性の重合は発生しない.
避けるべき条件	熱、炎及び火花.
混触危険物質	強酸. 強塩基. 強酸化剤.
危険有害性分解生成物	二酸化炭素.

11. 有害性情報

急性毒性

製品情報

吸入	この化学物質または混合物の特定試験データはない。気道刺激を引き起こすおそれ。
眼接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。眼に対する重篤な刺激性。重篤な眼の損傷。火傷のおそれ。眼に対する不可逆な損傷を引き起こすおそれがある。(成分に基づく)。
皮膚接触	この化学物質または混合物の特定試験データはない。皮膚接触により感作を引き起こすことがある。反復または長期にわたる暴露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じることがある。(成分に基づく)。皮膚刺激。
経口	この化学物質または混合物の特定試験データはない。飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、及び下痢を引き起こすおそれがある。飲み込むと有害のおそれ。
症状	発赤。灼熱。失明を引き起こすおそれがある。掻痒感。発疹。じんま疹。眼の発赤および流涙を引き起こすおそれがある。

毒性の数値尺度 - 製品情報

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されている

ATEmix (経口)	3,477.20 mg/kg
ATEmix (経皮)	1,100.00 mg/kg

Unknown acute toxicity 混合物の 100 パーセントは未知の毒性を持つ成分で構成されている
 混合物の 80 %は急性経口毒性が未知の成分から成る
 混合物の 97 %は急性経皮毒性が未知の成分から成る
 混合物の 100 %は急性吸入毒性(ガス)が未知の成分から成る
 混合物の 100 %は急性吸入毒性(蒸気)が未知の成分から成る
 混合物の 100 %は急性吸入毒性(粉じん/ミスト)が未知の成分から成る

毒性の数値尺度 - 成分情報

化学名	Oral LD50	Dermal LD50	吸入 LC50
Alkyl (C12-14) glycidyl ether 68609-97-2	= 17100 mg/kg (Rat)	> 3987 mg/kg (Rabbit)	-
Oxirane, [[(2-ethylhexyl)oxy]methyl]- 2461-15-6	= 7800 mg/kg (Rat)	-	-
2-Propenoic acid, 1,4-butanediyl ester 1070-70-8	= 587 mg/kg (Rat)	-	-
Bisphenol A - Epi chlorohydrin polymer 25068-38-6	= 11400 mg/kg (Rat)	-	-

短期的及び長期的ばく露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。皮膚を刺激する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	成分に対して利用可能なデータに基づく分類。火傷を引き起こす。眼に重度の障害を与えるリスクがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚接触により感作を引き起こすことがある。
生殖細胞変異原性	情報なし。
発がん性	情報なし。
特定標的臓器毒性 - 単回ばく露	情報なし。
特定標的臓器毒性 - 反復ばく露	情報なし。

標的臓器影響 呼吸器系、眼、皮膚。

吸引性呼吸器有害性 情報なし。

12. 環境影響情報

生態毒性

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の 0 %は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に毒性。水生生物に有害。

残留性・分解性 情報なし。

生体蓄積性 この製品のデータはない。

土壌中の移動性 情報なし。

移動性 情報なし。

他の有害影響 情報なし。

内分泌かく乱物質情報

化学名	EU - 内分泌かく乱物質候補リスト	EU - 内分泌かく乱物質 - 評価済み物質	日本 - 内分泌かく乱物質情報
Bisphenol A - Epichlorohydrin polymer	Group III Chemical	-	-

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

IMDG/I MO 規制されていない

ADR 規制されていない

IATA 規制されていない
正式輸送品目名 NON REGULATED

日本 危険有害性クラス N/A

15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

国際規則

日本

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)
該当しない

労働安全衛生法 該当しない

消防法：

禁止、許可または制限の対象になっている物質の使用、取り扱い、および保管に関する要件を満たしていることを確認すること
Designated Flammable Goods, Flammable Liquids, 2m³

化学物質の審査及び製造棟の規制に関する法律(化審法)

該当しない

労働基準法

化学物質により引き起こされる業務上の疾病 - 労働基準法第75条、労働基準法施行規則第35条及び化学物質の成分及び化合物と労働者の健康障害を指定する通告別表第1の2、項目4の1

国際規制

オゾン破壊物質(OD) 該当しない

残留性有機汚染物質 該当しない

輸出届出要件 該当しない

国際インベントリー

TSCA	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
DSL/NDSL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
EINECS/ELINCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
化審法	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
KECL	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
PICCS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。
AICS	インベントリー準拠状況については供給者まで問い合わせること。

凡例

- TSCA - 米国有害物質規制法セクション8(b)、インベントリー
- DSL/NDSL - カナダ国内物質リスト/非国内物質リスト
- EINECS/ELINCS - 欧州既存商業化学物質インベントリー/欧州新規届出商業用化学物質リスト
- ENCS - 化審法既存物質
- KECL - 韓国既存化学物質目録
- PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー
- AICS - オーストラリア化学物質インベントリー

16. その他の情報

作成者	Product Stewardship 23 British American Blvd. Latham, NY 12110 1-800-572-6501
発行日	04-1-2017
改訂日	15-11-2018
改訂記録	情報なし

安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**項目8：ばく露防止及び保護措置**

TWA	TWA (時間加重平均)	STEL	STEL (短時間暴露限度)
天井値	最大限界値	-	皮膚兆候
C	発がん物質		

免責事項

このSDSは、JIS Z 7250:2010およびJIS Z 7252:2009(日本)の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、

また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。



このSDSは、以下で特定されている供給者がUL SDSテンプレートを用いて作成したものです。ULは、このSDSに記載されている物質について、試験も、証明も、承認もしておらず、このSDSに記載されている全ての情報は供給者が提供したもの又は一般公開されている規制データ源から転載したものです。ULは、このSDSに記載されている情報の完全性に対しても、正確さに対しても、一切の表明も保証も行わず、さらにこの情報の使用に対しても、このSDSに記載されている物質の使用に対しても、一切の責任を否認します。このSDSのレイアウト、外観及び書式はUL LLCの著作物です。© 2014 UL LLC. 著作権所有。

安全データシートのおわり